

「第3回 地方公共団体における統計利活用表彰」受賞団体及び取組

受賞団体	受賞取組
<p>【総務大臣賞】 神奈川県横須賀市 (統計データの政策活用)</p>	<p>横須賀市のEBPM※1推進に寄与する経済波及効果分析ツールの開発と全庁的活用 横須賀市独自の経済波及効果分析ツールを開発して、政策の検証・見直しや、新規政策の立案に幅広く活用</p>
<p>【統計局長賞】 福岡県福岡市 (統計データの政策活用)</p>	<p>福岡市地域包括ケア情報プラットフォーム 医療や介護に関わるビッグデータを集約し、人の一生（ライフログ）を踏まえた分析と医療・健診・介護の相関分析を可能にしたデータ分析システムを構築し、効果的な施策立案を支援</p>
<p>【特別賞】 新潟県新潟市 (統計データの政策活用)</p>	<p>公的統計とGIS※2を用いた人口減少を前提とする都市経営 公的統計とGIS※2を用いて行政サービスの現状や将来を定量的に評価、地域間や世代間の公平性を視点とする「選択と集中」による合理的な公共施設の配置の立案</p>
<p>【特別賞】 岐阜県 (統計データを活用した人材育成)</p>	<p>小学4・5・6年生のための統計学習副読本 岐阜県の統計データを用いて県の魅力や特徴を楽しく学ぶことができ、アンケート調査を用いた課題解決プロセスの学習ができる学習指導要領に沿った補助教材を教育委員会と連携し作成。県内の全ての小学4年生に配布</p>
<p>【特別賞】 宮崎県 (統計データを活用したサービス改善)</p>	<p>ひなたGIS※2による統計データの可視化とデータ活用の推進 e-Stat※3等の統計データとAPI※4で連携し、様々なデータを自由に地図上に重ね合わせることで地域の特色や課題等を「見える化」する地理情報システムを提供</p>
<p>【奨励賞】 兵庫県加古川市 (統計データを活用したサービス改善)</p>	<p>行政情報ダッシュボードの構築 避難所等の安全安心に関する情報を始め様々なデータを可視化するとともに、国等が保有する情報と重ねて表示し、各地域の状況を一元的に把握できる機能を備えた「行政情報ダッシュボード」を構築</p>

※1 Evidence-based policy making (証拠に基づく政策立案)の略

※2 Geographic Information System (地理情報システム)の略

※3 政府統計の総合窓口

※4 Application Programming Interfaceの略

神奈川県
横須賀市

横須賀市のEBPM推進に寄与する経済波及効果分析ツールの開発と全庁的活用

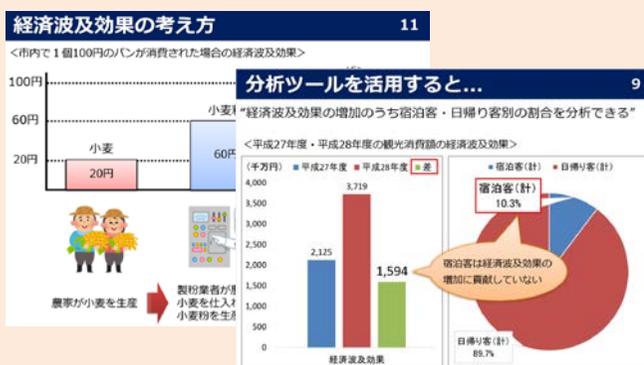
✓ 横須賀市独自の経済波及効果分析ツールを開発して、政策の検証・見直しや、新規政策の立案に幅広く活用

分析ツールの開発

- ・簡易な操作により経済波及効果を自動的に分析
- ・分析結果の自動的なグラフ生成やフローチャート作成
- ・幅広い分野にわたっての分析を可能とするために、7種類（観光・イベント、建設投資、設備投資、生産増加等）開発
- ・事例分析等を掲載した活用マニュアルの作成や、職員への研修等により、全庁的な活用を推進

<活用マニュアル>

<研修資料>



政策への活用例

- ・市の予算編成方針において、当該分析ツール等を活用し、費用対効果を検証する旨を明記
- ・大規模イベント等において経済波及効果の分析を行い、次回開催時の改善点を検討
- ・建設事業等について、市内経済全体や市内の各産業に生じる事業効果を把握

<分析結果の公表>



<タウンニュース横須賀版 7/27号より抜粋>



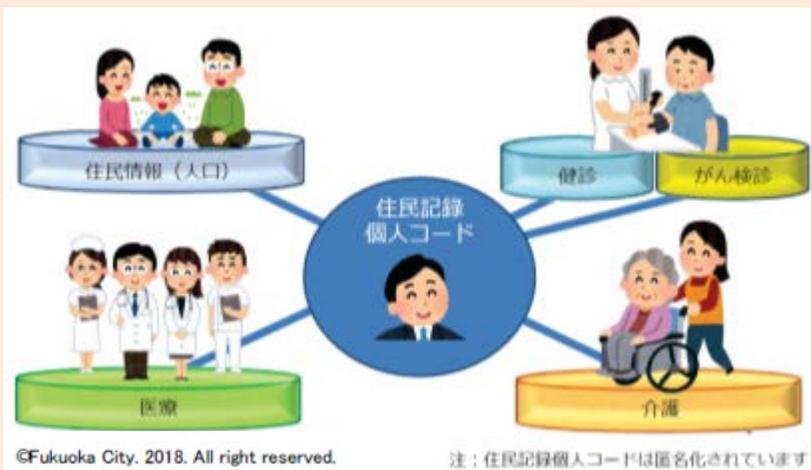
福岡県
福岡市

福岡市地域包括ケア情報プラットフォーム

- ✓ 断片的に管理されていた出生や死因，健診結果，医療や介護に関わるビッグデータを住民情報に紐づけて集約し，人の一生（ライフログ）を踏まえた分析と医療・健診・介護の相関分析を可能にしたデータ分析システムを構築。科学的エビデンスに基づく効果的な施策立案を支援

データ集約

- ・住民情報（人口）、検診、医療、介護に関するビッグデータを住民情報に紐づけて集約



データ分析

選択条件により分析対象者を絞り込んで分析



科学的エビデンスに基づく効果的な施策立案を支援

新潟県 新潟市

公的統計とGISを用いた人口減少を前提とする都市経営

- ✓ 公的統計とGISを用いて行政サービスの現状や将来を定量的に評価
- ✓ 地域間や世代間の公平性を視点とする「選択と集中」による合理的施設配置の立案

GISを用いた行政サービスの定量評価

- ・小地域別人口と公共施設のサービス圏域を空間的に結びつけ、需要と供給を計測した結果、偏在性が判明
- ・人口とサービス量を50年先まで計測し投資効果を推定
- ・上記結果を報告書にまとめ、住民や行政等の関係者間で合意形成が図られるための基礎資料を提示



合理的施設配置の立案

- ・報告書で示された行政サービスの定量的評価や投資効果を踏まえて、新設計画等の妥当性を議論
- ・保育所入所率の地域分布や小地域別アクセシビリティ評価により潜在的待機児童の推定
- ・出火件数・人口・事業所数の関係から、事業所数を考慮した消防資源の適正配置を検討



岐阜県 小学4・5・6年生のための統計学習副読本

- ✓ 岐阜県の統計データを用いて県の魅力や特徴を楽しく学ぶことができ、アンケート調査を用いた課題解決プロセスの学習ができる補助教材を教育委員会と連携し作成
- ✓ 具体的な活用方法を手引きとしてまとめ、学校の先生方へ積極的に情報発信

学習指導要領に沿った統計学習

- ・統計からみた岐阜県の特徴、身近なデータによるグラフの作成方法、アンケート調査の方法、県・市町村別のデータ集、コラム等からなり、小学4～6年の3年間にわたり活用

<様々な統計データをグラフ表示>



<グラフの作成方法>

活用方法の情報発信

おすすめの学科や学習指導要領該当箇所、具体的な活用手順等を記載した手引きを作成し、指導主事研修会等で学校の先生方へPR

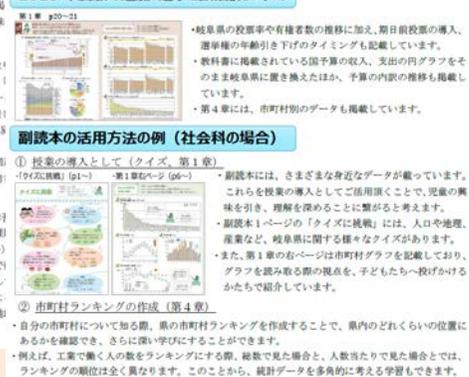
<算数科活用例>

副読本の活用方法の例（算数科の場合）

- ① データの読み取り（第1章）
 - ・算数科で習うグラフを駆使して、岐阜県に関するさまざまなデータを指し、非常に身近で現実味のあるデータとなりますので、子どもたちの興味を引きます。
- ② 市町村のグラフ作成（第2章）
 - ・学習指導要領で取り「折れ線グラフ」近な市町村のデータを自分で探し、少し難しさを加えます。
 - ・複数のグラフを併せてその理由などを考えます。
- ③ 統計的な探究プロセスの実施（第3章）
 - ・平成29年度の学習の中で見つけた課題（PQACサイクル）をもとに、この第3章を読み、統計的な探究プロセスを実施し、夏休みの課題として取り組みます。

<社会科活用例>

2018年度版で追加「選挙と政治」について

- 
- ・岐阜県の投票率や有権者数の推移に加え、前日投票の導入、選挙後の年齢引き下げのタイミングも記載しています。
 - ・教科書に掲載されている国予算の収入、支出の内訳のグラフをそのままだと掲載し置き換えたほか、予算の内訳の推移も掲載しています。
 - ・第4章には、市町村別のデータも掲載しています。
- ##### 副読本の活用方法の例（社会科の場合）
- ① 授業の導入として（クイズ、第1章）
 - ・副読本には、さまざまな身近なデータが載っています。これらを授業の導入としてご活用頂くことで、児童の興味を引き、理解を深めることに繋がると考えます。
 - ② 市町村ランキングの作成（第4章）
 - ・自分の市町村について知る際、県の市町村ランキングを作成することで、県内のどれくらい位置にあるかを確認でき、さらに深い学びにすることが出来ます。
 - ・例えば、工業で働く人の数をランキングにする際、総数で見ると、人数当たりで見ると、ランキングの順位は全く異なります。このことから、統計データを多角的に考える学習も出来ます。

活用見込アンケート調査では、社会、算数を中心とする多様な教科で活用ができるとの回答

【特別賞】

宮崎県

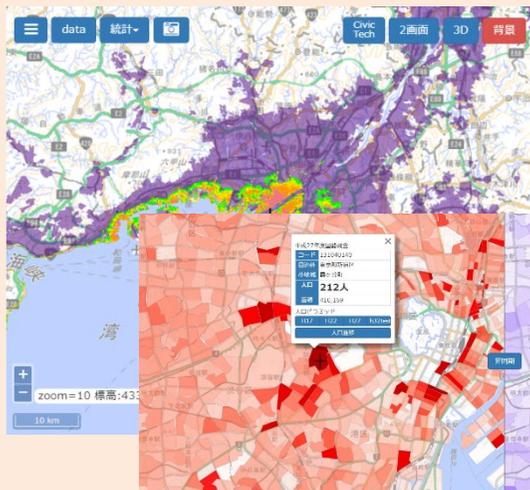
ひなたGISによる統計データの可視化とデータ活用の推進

- ✓ e-StatやRESASの統計データとAPIで連携し、様々なデータを自由に地図上に重ね合わせることで地域の特色や課題等を「見える化」する地理情報システムを提供

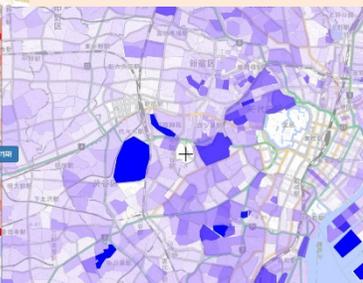
ひなたGISで情報の「見える化」

- ・ 様々なデータと地図情報を重ね合わせて「見える化」し、情報提供
- ・ 全国の自治体や個人で利用が可能

<津波浸水想定+人口集中地区>



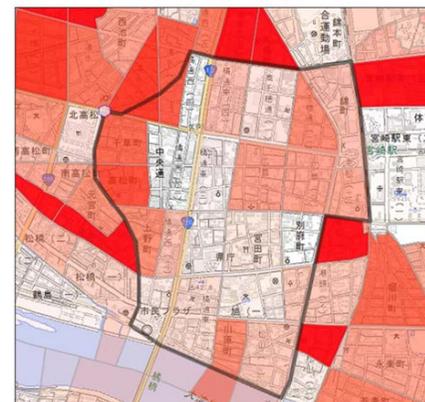
<小地域人口の65歳以上と15歳未満を比較>



自治体の施策立案

宮崎市が「ひなたGIS」で表現できる小地域データを使用して「宮崎市まちなか活性化推進計画」を策定

■ 図⑩ 町丁別面積あたりの現住人口集積度 (2015(平成 27)年全国小地域人口)



出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat) のデータをひなたGIS(<https://hgis.pref.miyazaki.lg.jp/hinata/>)で表示
色が濃いほど単位面積あたりの集積度が高い

「宮崎市まちなか活性化推進計画」から抜粋

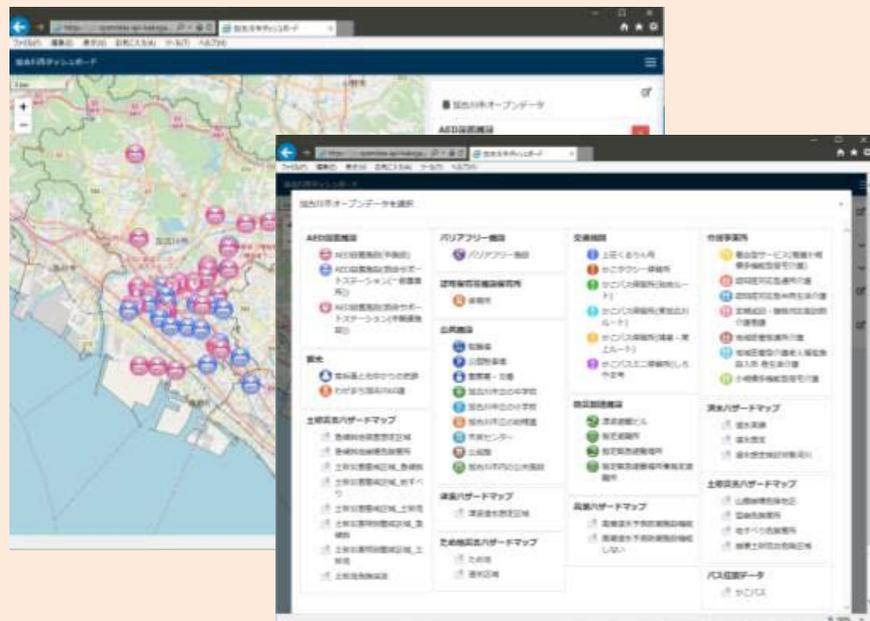
兵庫県
加古川市

行政情報ダッシュボードの構築

- ✓ 市が構築したデータプラットフォームのAPIを公開し、様々な情報を市民等に提供
- ✓ 国の統計データや市が有する情報を可視化し、避難所等の安全安心に関する情報を中心に各地域の状況を一元的に把握できる機能を備えた「行政情報ダッシュボード」を構築

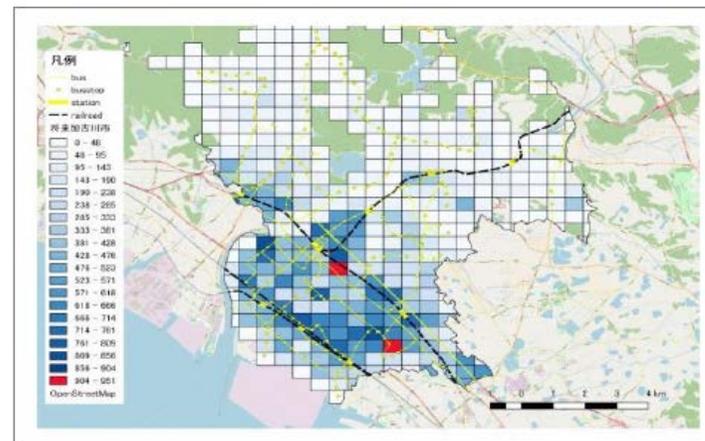
行政情報ダッシュボードの構築

- ・加古川市のオープンデータAPIをe-Stat等の外部機関の情報と組み合わせる表示



研究等での活用例

- ・データプラットフォームのAPIで様々なデータを活用し、高齢者の公共交通機関のアクセシビリティに課題が発生すると予測される地域に関する分析を実施



出典：兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科